



# 見島小中学校だより

第3号

発行責任者 校長 中野 貴夫

豊かな心と健やかな体を持ち、夢の実現に向けて自ら学び続ける見島っ子の育成

## 1学期終了、明日からいよいよ夏休みです。

7月20日（火）、1学期最後の日となりました。今学期は昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の話題が尽きない学期となりましたが、学校教育を行う上では特に大きな影響を受けることもなく、予定した教育活動をほぼ無事に終えることができました。

終業式では、1学期の学校生活を振り返り、①「まずは五人全員が大きな病気やけがをすることなく、元気に過ごせたこと」、②「大きな声であいさつができたこと」、③「授業に積極的に取り組み、昼休みは全員でよく外で遊んだこと」などについて触れ、子どもたちの頑張りを称えました。

その後、児童生徒を代表して、小学部4年の■■■■君と中学部1年の■■■■君が、1学期の反省と2学期に向けての抱負を堂々と述べてくれました。

さて、明日から待ちに待った夏休みが始まります。夏休みは自分の興味・関心のあることに集中して取り組むことができる絶好の期間であると同時に、ややもすると気分が解放的になり生活習慣が乱れてしまいがちな期間でもあります。規則正しい生活を心がけ、一日一日を計画的に過ごすとともに、家族や地域の方々とのふれあいの時間を大切にするなど、充実した生活を送ってほしいと思います。

9月には、夏休みの様々な体験により、これまでよりも一回り成長した児童生徒の皆さんに会えることを楽しみにしています。



## 砂見田海水浴場クリーン大作戦！

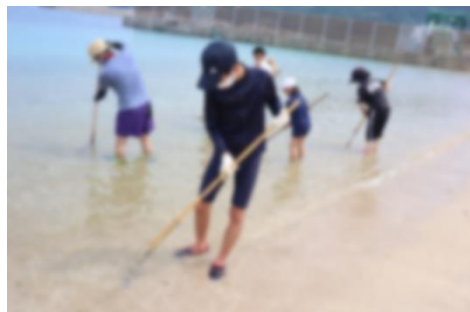
7月15日（木）、見島小中学校全児童生徒・教職員で、砂見田海岸の清掃活動を行いました。これは、見島支所の■■■■所長さんからの声かけにより実現しました。昨年末までは、放課後、有志による参加としていましたが、今年は本活動をより重要な活動と位置付け、授業の一環として取り組むことにしました。

最初に、萩市環境衛生課の方からビーチクリーナー（右写真）に関する説明を受け、手作業ではたくさんの人手と時間を必要とする作業をビーチクリーナーでは比較的短時間で行えることを学びました。その後、



全員がビーチクリーナーの運転席に座らせていただくなどの体験をしました。

続いて、砂浜のゴミ集め、さらにヒラタブンブクの駆除作業を行いました。公民館の



館長さんから、ヒラタブンブクの見つけ方に関する説明や、トゲに刺されないようにするための注意を受け、張り切って作業に入りました。が、結果的には一つも見つかることができませんでした。しかし、見つからなかったということも、それだけ海岸の危険が少ないということでもあり、うれしさと見つけれなかった残念な気持ちとが入り交じった複雑な心境でした。

このたびの活動を通して、子どもたちが地域の環境保全・維持の大切さに気付くとともに、ふるさと見島を愛する心を育むことにつながってくれたらと思います。

## 「学校運営協議会」・「地域ぐるみ生徒指導推進協議会」を開催しました

7月6日（火）に「地域ぐるみ生徒指導推進協議会」を、7月8日（木）に「学校運営協議会」を開催しました。「地域ぐるみ生徒指導推進協議会」では、クリーン美島、花いっぱい運動、交通安全、夏休みの生徒指導等に関する協議のほか、ご出席いただいた各団体の皆様と情報交換をさせていただきました。「学校運営協議会」では、知、徳、体の各プロジェクトの進捗状況、学校評価の結果などを議題として、報告や協議をさせていただきました。



そして、どちらの会議でも次のようなことについてお話をさせていただきました。

- ・ 山口県では、地域連携教育に力を入れており、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を核として地域協育ネットの仕組みを生かして、社会総がかりで子どもの学びや育ちを支援する取組を推進しています。
- ・ 地域連携教育を進めるに当たっては、学校と地域社会が、目標や子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を共有し、連携・協働して教育活動等を行っていくことが重要です。
- ・ 本校では、これまで新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ふれあいの日やオープンスクールなどの行事において、地域の皆様に学校にお誘いすることを自粛してきましたが、重点対策期間が終了したことを受け、今後、地域の皆様との関わりを大切にしたい教育活動を徐々に取り戻していきたいと考えています。
- ・ そのため、学校運営協議会と地域協育ネットを中心とした地域人材等に関わるネットワークづくり、仕組みづくりの再構築を、今年度中を目処に進めていきたいと考えています。
- ※ 学校と地域をつなぐ役割を地域学校協働活動推進員の■■■■さん（学校運営協議会会長）に担っていただいておりますが、学校のニーズを地域へ、地域のニーズを学校へ届けていただくことで、学校と地域社会の連携・協働体制の更なる充実を目指していきます。
- ・ 今後も、子どもたちの体験活動を重視し、学校の中だけでは学ぶことができないことを体験活動や地域の皆様との関わりの中から学び、将来に生きてはたらく力を身に付けていけるようにするとともに、ふるさとを愛する心の醸成につなげていけたらと思っています。
- ・ 具体的には、12月の会議を「学校運営協議会」「地域ぐるみ生徒指導推進協議会」の合同会議とさせていただきます、共通理解を図っていけるようにしたいと思います。

今後とも、保護者・地域の皆様の変わらぬご理解、ご支援をよろしくお願いします。